

学びのプログラムへの取組 ～高齢者教育支援～



東広島市教育委員会 生涯学習課
峯田 正史



人口	186,649人
世帯数	83,452世帯
高齢化率	23.5%

【社会教育関係施設】	
生涯学習(支援)センター	6
地域センター	35
図書館	5
美術館	1
コミュニティハウス	2
東広島市ボランティア活動支援センター	1



平成29年度 社会教育関係職員研修

- ◆全体研修 2回(全職員を対象)
- ◆基礎研修 1回(初任者を対象)
- ◆学習圏別研修 2回(全職員を対象)
- ◆スキルアップ研修 5回(希望者を対象)



スキルアップ研修(訪問型研修)

【研修テーマ】

「社会教育ですすめる地域活性化支援のあり方」



【目的】

- ◆専門性を発揮できる社会教育関係職員の能力・技能の向上(人材育成)
- ◆研修の成果を市域全体で共有し、学習支援のネットワークを構築

【研修における視点】

- ◆東広島市の生涯学習の振興，社会教育の推進。
- ◆継続的，段階的な研修体制を組む。
- ◆実践的，体験的な研修プログラムの実施。
- ◆関係職員相互のネットワーク形成を図る。
- ◆職務への意識啓発に結びつき，意欲を高めるための工夫。



【研修内容】

第1回 6/14(水)13:00~16:00

【講義】「地域づくり、人づくりを担う社会教育の役割」

【グループ別演習】「学びのプログラム『シートA』をつくる」

第2回 7/14(金)13:00~16:00

【講義】「学びのプログラム『シートA』の検証(リデザイン)」

【講義・グループ演習】「学びを広め、深めるプログラムづくりのポイント」

第3回 8/2(水)13:00~16:00

【グループ演習】「学びのプログラム『シートB』の確認」

【講義・演習】「学びのプログラム『シートD』事業評価の方法とアンケート作成」

【交流】「学びのプログラム『シートB』の発表・相互評価とリデザイン」

第4回 10/3(火)

【事例研修】「先進的な実践に取り組んでいる社会教育施設実地視察」

(大竹市立玖波公民館)

第5回 12/13(水)13:00~16:30

【成果発表】「学びのプログラムへの取り組みと評価」

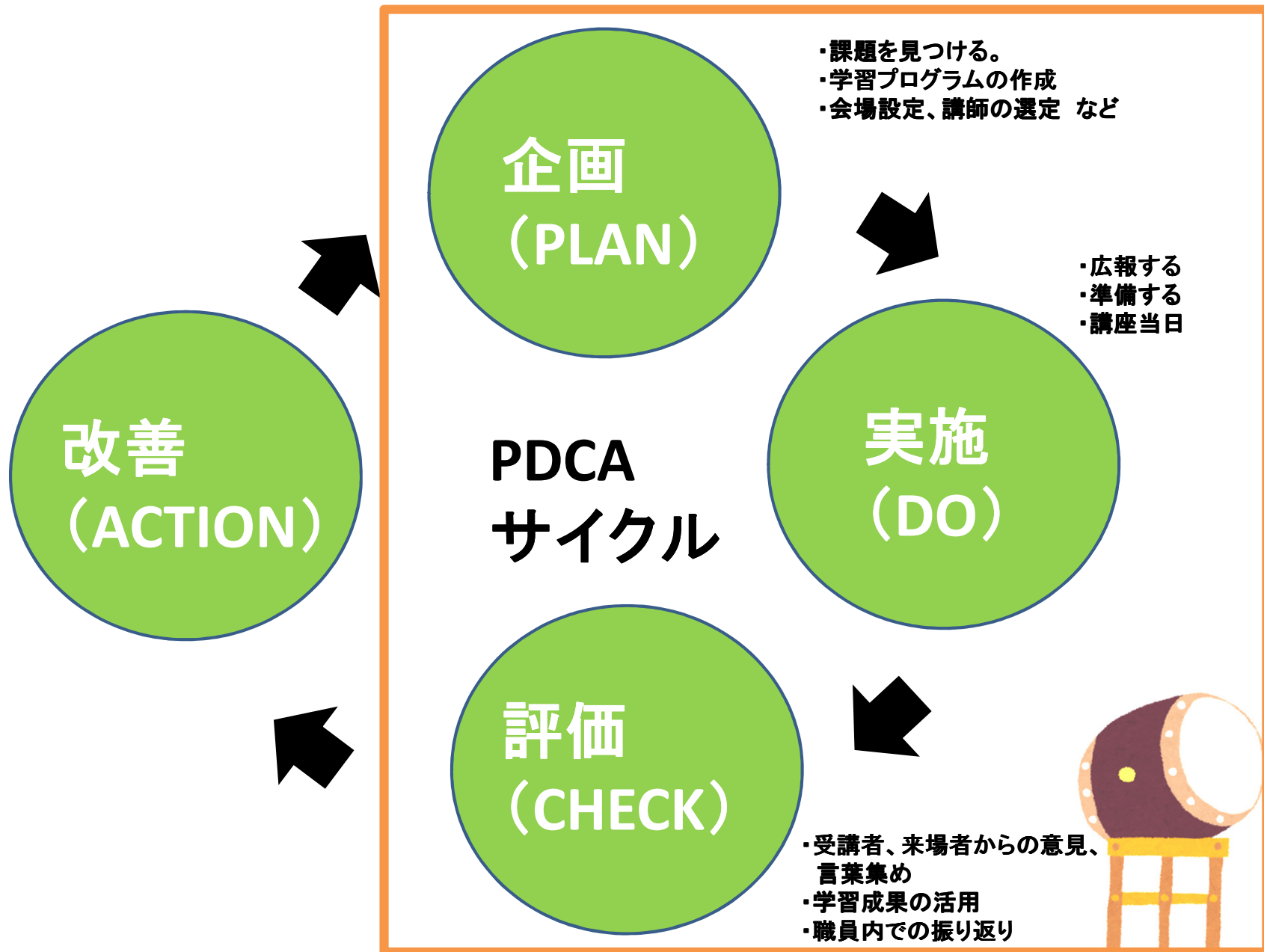
【講義・講評】「評価を生かした社会教育事業の展開」



講座づくりから実践まで

黒瀬生涯学習センター	徳永 梢
安芸津生涯学習センター	上田 順子
川上地域センター	山田 早苗
寺西地域センター	中山 真理





企画【PLAN】

- 課題を見つける
- 学習プログラムの作成
- 会場さがし 講師の選定

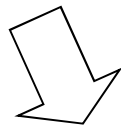
など



地域住民の学習ニーズ

- 自主サークルの高齢化・参加者の減少
- もっといろいろな体験できる講座を(未就園児もいっしょにできるものも)
- 地域の子どもの減少
- 子どもの放課後の受け入れ先がほしい

自主サークルさんの活躍の場にしてみても？！



地域が抱える課題

- 高齢者の支援(生活支援・学習支援)
- 新興住宅、住民どうしの交流の場の充実
- 後継者の育成
- 世代間交流を図る



音楽的イベントなら人が来る？！



テーマ： にぎやか♪すこやか♪世代間交流

学習の目的・目標

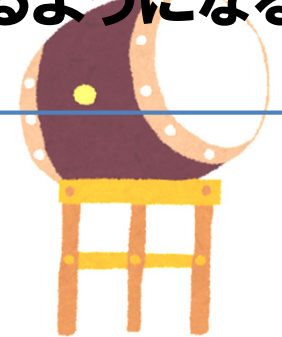
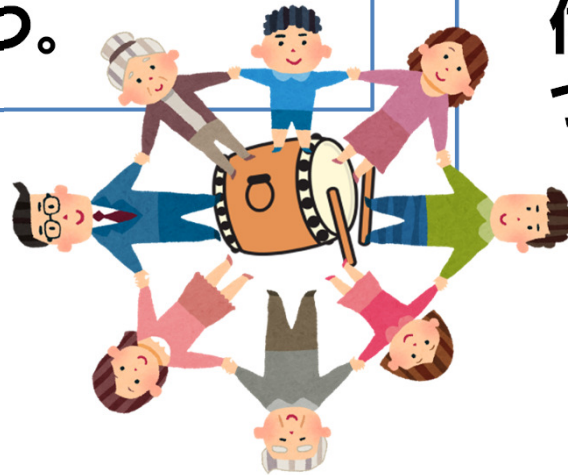
テーマ： にぎやか♪すこやか♪世代間交流

学習目的

- 高齢者が孤立しないように、趣味などの生きがいを持つ。
- 老若男女が健康で安心して暮らすことのできる友達作りの場を持つ。

学習目標

- 和太鼓のたたき方、楽しさ、健康とのつながりを知ることができる。
- 実際に体験することで、自信につなげ、地域の人とのつながりを感じるようになる。



1 学習目的

- 高齢者が孤立しないように、趣味などの生きがいを持つ。
- 老若男女が健康で安心して暮らすことのできる友達作りの場を持つ。

2 学習目標

- 高齢者が講座に参加することで、様々な活動を知ることができる。
- 実際に体験することで、自信につなげ、地域の人とのつながりを感じるようになる。

3 プログラム名

ドーンと健幸！シニアのための和太鼓教室

4 対象者・定員

市内在住の60歳以上の方	定 員	10人
--------------	-----	-----

5 参加費

(受益者負担を原則として、参加費を算定する。なお算出の根拠も明確にする。)

無料

6 事前に必要な知識や準備物

- ・自宅練習用のまちは新聞紙で作成する。
- ・申込時に運動制限など配慮が必要な方は、いづれか確認する(大きな音がするので)。

7 留意点

- ・安全管理(救急対応:外科、内科など)
- ・体調管理(水分補給)

プログラム名は わかりやすく



対象者……シニアのための

内容……太鼓と健康

対象者:市内在住60歳以上

参加費:無料

定 員:10名



8 学習プログラムの展開

回・日程	学習テーマ	各回の学習目標 (◎) 学習内容	学習支援者	学習場所	評価 (振り返りの方法)
10月4日 (水) 10:00~ 12:00	初めまして！太鼓ってこんな音	◎太鼓体験してみよう。 ◎基本的な太鼓の打ち方、太鼓の歴史などを知ろう。 【内容】 ○講師紹介、自己紹介 (5分) ○太鼓をたいてみよう (実技 20分) ○講師演奏 (15分) ○太鼓について知ろう (講義 30分) ○いさ、実践① (実技 40分) ○振り返り (10分) ※()内は目安時間。 受講生の体力を見て適宜休憩を取り入れる。	和☆Rock 荒井さん他2名 Aグループ職員	黒瀬生涯学習センター イベントホール	・行動観察 ・インタビュー
10月25日 (水) 10:00~ 12:00	太鼓と健康 ～へー、こんなつながりあったんだ、太鼓と健康～	◎太鼓の技術を身につける。 ◎太鼓と健康に関連する知識を身につけ、今後の生活に取り入れていく。 【内容】 ○講師紹介 (必要に応じて) ○第1回めの復習 (実技 30分) ◎健康と太鼓について (講義 40分) ○いさ、実践② (実技 40分) ○振り返り (10分) 講義内容は高齢者と健康に関する内容、日常に取り入れやすい太鼓と関連のある話を検討。・食育もしくは運動機能に関する内容を予定	和☆Rock 荒井さん他2名 Aグループ職員	黒瀬生涯学習センター リハーサル室	・行動観察 ・インタビュー
11月4日 (土) 10:00~ 12:00	よってきんさい、太鼓パーティー (学習成果発表)	◎発表することで、これまで学習してきたことに自信を持つ。 ◎来場の方も一緒に体験することで、地域住民と交流を図る。 【内容】 ○リハーサル (実技 40分) ○発表 (実技 30分) ○観客の皆さんと一緒に体験 (実技 30分) ○振り返り チラシや広報誌で来場者を募集する。より多くの方に活動、取り組みを周知する。	地域講師 (来場者) 和☆Rock 荒井さん Aグループ職員	黒瀬生涯学習センター イベントホール	・行動観察 ・インタビュー ・アンケート

学習テーマはシンプルにわかりやすく

- ① 知ること
- ② 楽しむこと
- ③ 発表すること

(POINT)
受講者や講師が
理解しやすい

↓ 各回の学習テーマ

第1回 10月4日(水)
はじめまして！太鼓ってこんな音

太鼓の興味関心を高める。仲間意識につなげる。サークルの立ち上げなど、自主活動につなげるきっかけづくり

第2回 10月25日(水)
太鼓と健康


～へー、こんなつながりあったんだ～

健康の意識と和太鼓を関連付けることで、より長い期間を意識して太鼓の練習に取り組むことができる。仲間意識をより深めるきっかけづくり。

第3回 11月4日(土)
よってきんさい！

シニアによる健幸！和太鼓発表会

発表することで、これまで学習してきたことに自信を持つ。来場者とともに体験することで地域住民と交流を図る。

主催者 やりたいこと。  講師 出来ること。

講師

●荒井 啓さん

介護福祉士として勤務しながら、
「和☆Rock」のメンバーとして活動中。

そのほか、1回目2名・2回目1名・

3回目(発表会)6名 すべて和☆Rockメンバー



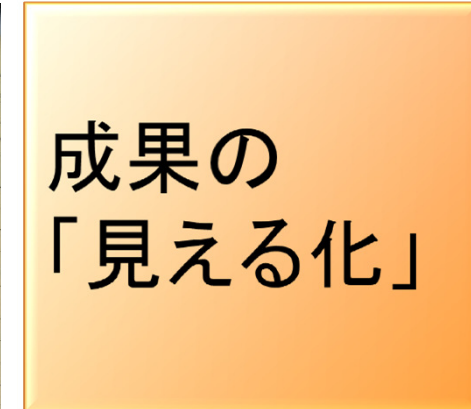
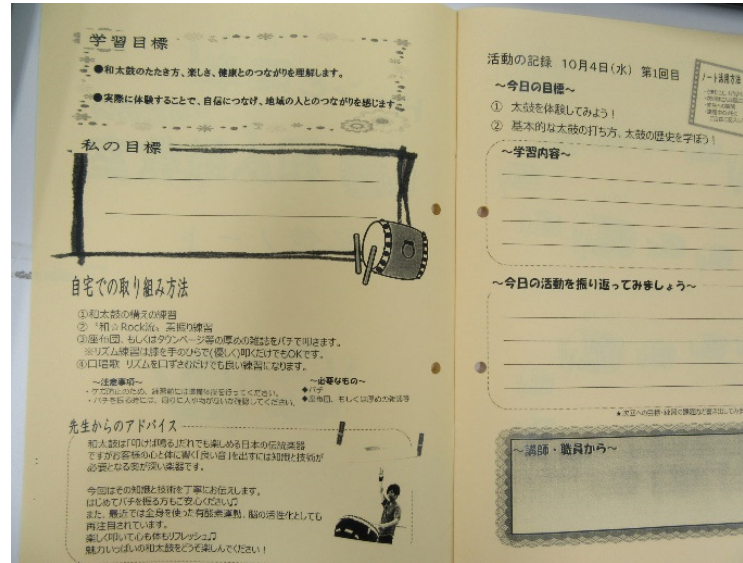
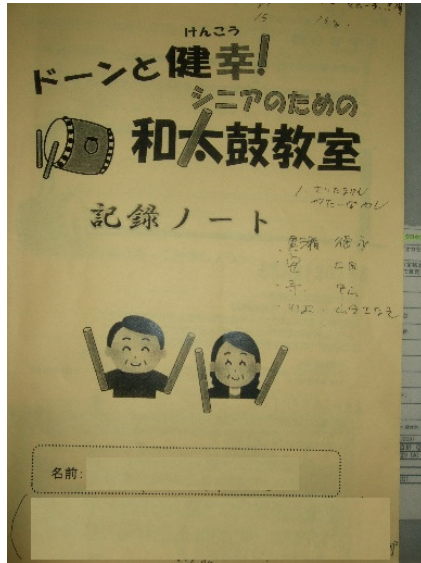
●和☆Rock

呉市を拠点に活動している和太鼓グループ。和太鼓のほか、篠笛・尺八などの和楽器やギター・ドラムなどの洋楽器も取り入れた楽曲作りを行っている。メンバーは高校生から20代。2016年、けんみん文化祭ひろしま和太鼓フェスティバルにて、最優秀賞受賞。

【指導依頼の主な内容】

学習プログラム内容の確認。楽器に関すること。技術指導だけでなく、多くの会話をさせていただくこと、受講者の体調や意欲に合わせて内容も大幅な変更の可能性があることをご了承いただけるか などを確認。

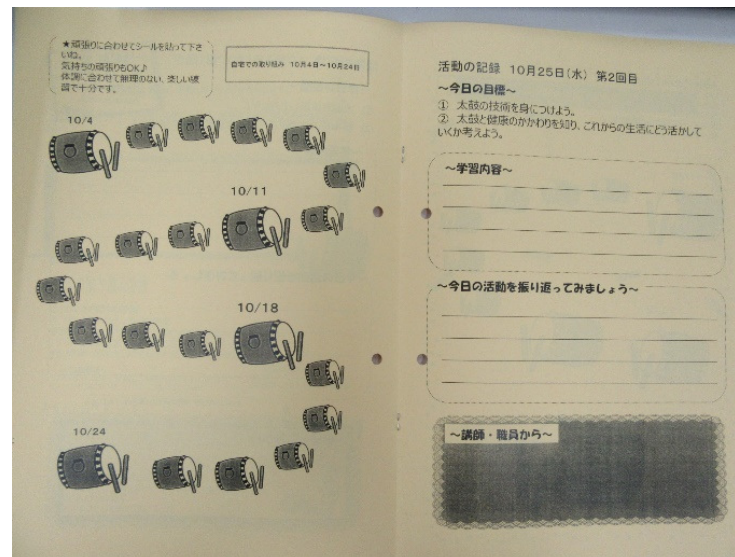
記録ノート ●学習目標の設定・練習の記録



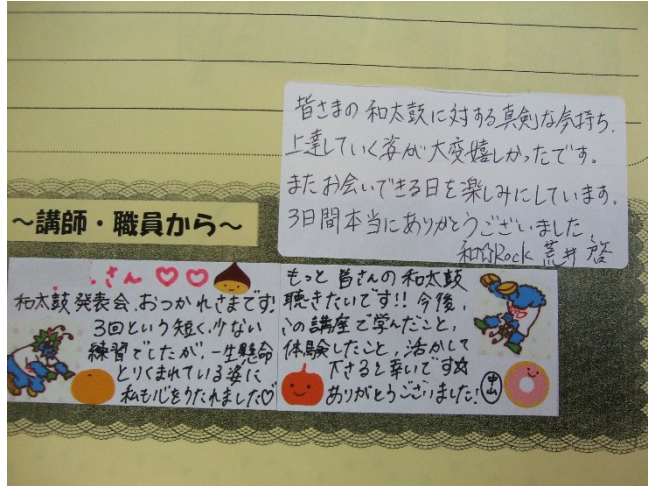
講座記録ページ

名前を記入。
世界に一つだけの記録ノート。

自宅練習の取り組みはシールを
貼ってわかりやすく。



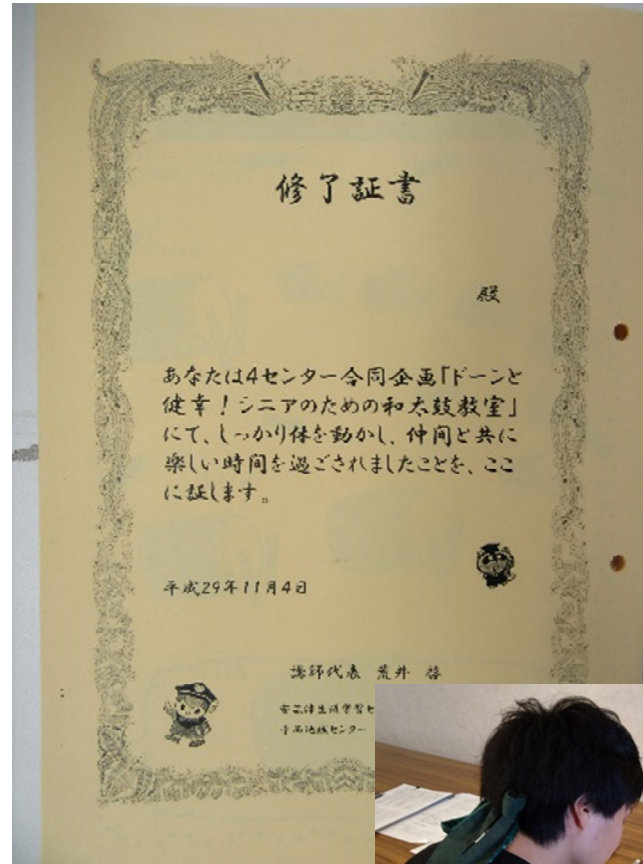
記録ノート



●講師や職員からのメッセージ



●写真の記録



●修了証書



実施【DO】

- 広報する
- 準備する
- 講座当日の細かな準備物、
スケジュール管理 など。



けんこう
参加費無料

ダウンと健幸! シニアのための 和太鼓教室

●10月 4日(水) 10時~12時 (全3回)
はじめまして!太鼓ってどんな音
●10月25日(水)
太鼓と健康
~へー、こんなつながりがあったんだ~
●11月 4日(土)
よってきんざい、太鼓パーティー(成果発表会)

初めての方、リズム感に自信のない方、大歓迎です!

心が弾む和太鼓は、聴いて、見て、たいて、やってみると、気持ちよくなります。

会場：黒瀬生涯学習センター
講師：荒井 啓さん (和太鼓、ほか)
対象：市内在住の60歳以上の方
定員：10人 (3回とも受講可能な方)
申し込み方法：ハガキ・ファックス・右記
4センター窓口 ①講座名 ②住所
③名前(ふりがな) ④電話番号をご記入
の上、お申し込みください。*ファックスで
お申し込みの方は、受取確認をお願いします。
持参物：飲み物、筆記用具、タオル、
(お持ちの方は)生涯学習パスポート
*太鼓のばらは、用意します。
締め切り：9月25日(月)必着
*定員を越えた場合は抽選とし、要領が決定した方
のみ通知します。

受講者

60代~70代の9名 (男性1名、女性8名)

黒瀬町 6名

その他 3名



●広報方法

市ホームページ

地域情報誌(フリーペーパー)

チラシ など

第1回:はじめまして! 太鼓ってこんな音

講師紹介、アイスブレイク(バチの貸与式・受講者の自己紹介)

講師演奏、太鼓についての基礎知識、準備運動、太鼓実践、課題曲発表、ふりかえり



●バチの貸与式
・自己紹介

●講師の演奏



●基礎打ちの練習

●課題曲

『課題曲～テーマ～』

① (スットン スットン スットンドン) x2
(㊦) (㊦) (㊦) (㊦) (㊦) (㊦) (㊦) (㊦)

② ドコウン x8 ドコウン x8
(㊦) (㊦) (だんどん大さく) (㊦) (㊦) (だんどん大さく)

③ ドコドコドコ x2
(㊦) (㊦)

④ ドン ドン ぎーれ!! ドコドコドン
(㊦) (㊦) (両手で上げる) (㊦) (㊦) (㊦) (㊦)



アクシデントに対して……

<p>11月4日 (土) 10:00~ 12:00</p>	<p>よってきんさい、太鼓パーティー (学習成果発表)</p>	<p>◎発表することで、これまで学習してきたことに自信を持つ。 ◎来場の方も一緒に体験することで、地域住民と交流を図る。 【内容】 ○リハーサル (実技 40分) ○発表 (実技 30分) ○観客の皆さんも一緒に体験 (実技 30分) ○振り返り</p>	<p>ミニ オ ナ ラ ト</p>
---	---------------------------------	---	-----------------------------------

リハーサル時間が必要。発表会開始まで20分間、来場者への対策が必要！



**待っている時間
来場者の方へスライドを見てもらう？！**



第2回目も若干変更。

第2回：太鼓と健康

～へー、こんなつながりあったんだ～

第1回目の復習、太鼓と健康の関係を学ぶ、準備運動、課題曲練習、ふりかえり



●健康○×クイズ



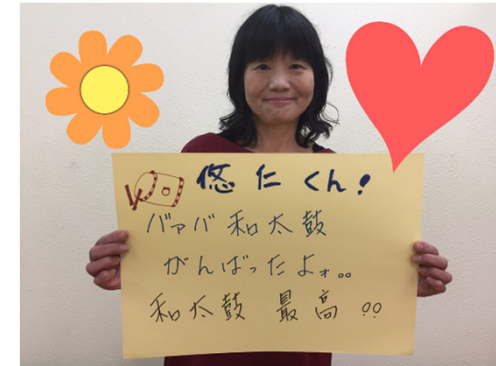
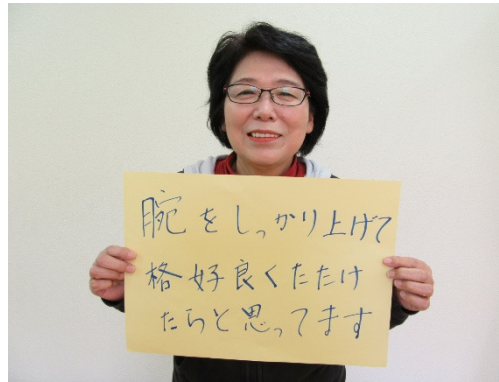
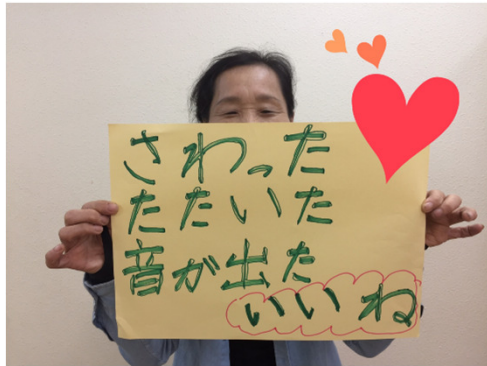
●課題曲練習

コナミスポーツクラブのシニア向け運動プログラム「オイス」のトレーナー

守田弥香さんの助言

心かげたいのは、頑張りすぎないこと。シニア世代は、これまでの運動経験の有無などで個人の体力差が大きい。まずは、それぞれの体力レベルに応じて、ちょっと頑張ればできることを目標にする。シニア世代は、自分の体の状態に敏感な人が多く、運動の効果も感じやすい。何歳から始めても、体力は向上させられます。「遅すぎる」ことはありません。

ダシマユカ 小林 世以子



2回目講座の合間に一人一人メッセージカード作成。写真撮影。



●映像によるメンバーの取り組み紹介

第3回： よってきんさい！ シニアによる健幸！和太鼓発表会①

最終打合せ、リハーサル、ビデオ上映

①受講者による発表

②講師による演奏

③来場者も一緒に太鼓体験-1「まねっこドン」



第3回： よってきんさい！ シニアによる健幸！和太鼓発表会②

④太鼓と健康クイズ

⑤来場者も一緒に太鼓体験

-2「みんなでひとつの輪になって」



修了式 ふりかえり



評価【CHECK】

- 受講者から、来場者からの意見 言葉集め
- 職員内での振り返り



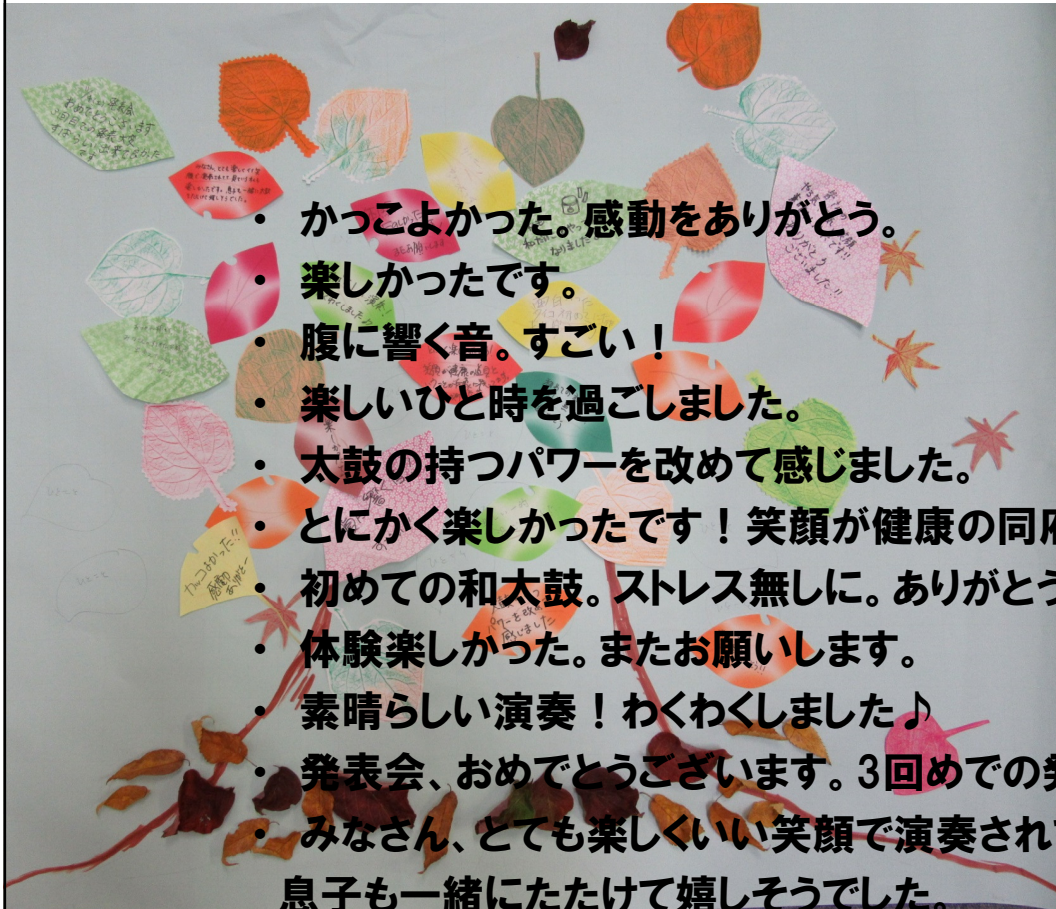
受講者の声

- 太鼓と健康のかかわりを知れてよかった
- 気分も身体も気持ちがよく、笑顔になれた
- 観客のみなさんと演奏できてとてもよかった
- 先生の言葉かけなどがシニアに優しく、やる気がでた
- 発表会を目標にこのメンバーで頑張れてよかった
- 講座が終わりさみしい…

ばちが取り上げられるような気持ち…



来場者からの声



- かつこよかった。感動をありがとう。
- 楽しかったです。
- 腹に響く音。すごい！
- 楽しいひと時を過ごしました。
- 太鼓の持つパワーを改めて感じました。
- とにかく楽しかったです！笑顔が健康の同府という事が印象に残っています。
- 初めての和太鼓。ストレス無しに。ありがとう。
- 体験楽しかった。またお願いします。
- 素晴らしい演奏！わくわくしました♪
- 発表会、おめでとうございます。3回めでの発表大変、素晴らしい出来で良かったです。
- みなさん、とても楽しくいい笑顔で演奏されてて試している私も楽しかったです。息子も一緒にたたけて嬉しそうでした。
- みなさんのやる気、元気、笑顔、素晴らしかったです。ありがとうございました。

学習の目的・目標設定の評価

学習目的

- 高齢者が孤立しないように、趣味などの生きがいを持つ。
- 老若男女が健康で安心して暮らすことのできる友達作りの場を持つ。

学習目標

- 和太鼓のたたき方、楽しさ、健康とのつながりを知ることができる。
- 実際に体験することで、自信につなげ、地域の人とのつながりを感じるようになる。

評価

- 約半数が黒瀬地域の受講者ということから、地域のニーズにこたえる講座設定ができていたのではないかと。
- 受講者の声や受講態度などから、3回の講座を通して、互いを知り、講座を楽しむことができていたことがわかる。
- 発表会を通して、世代間交流を行うことができた。
- 記録ノートを活用することで、互いに「見える」活動ができた。
- 受講前後に簡単な感想を話す時間、発表会後に修了式を行うことで、受講者が振り返りやすい環境づくりに努めることができ、各自で振り返ることができていた。
- 内外の方から、多くのご協力を得ることができた。

改善【ACTION】

- ・各センターへの反映



改善案

- **発表会の衣装調達や司会進行など、受講者に積極的にかかわってもらう時間がとれなかった**
- **講師との打合せが十分でなく、進行がもたついた**
- **発表会の宣伝、集客があまりできなかった**

⇒情報の共有、作業分担の明確化

講座開設までの期間は余裕をもつこと。

(講師に対して) できること、できないことの確認

まとめ

- ・各職員が感じたこと

記録・保存 ⇒ 共有財産

ゴールではなくスタート

次の講座作りに活かしていこう

